



# 北っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ  
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being

◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

子どもたちを笑顔で迎え 最高の笑顔にする 末広北小学校

校長 大野 昌 広

4月7日に着任式・始業式、8日に入学式が行われました。

新たに8名の教職員を迎え、総勢44名のスタッフとなりました。また、42名の新入生を迎え、全校児童269名で令和8年度の末広北小学校の教育活動がスタートいたしました。

学校教育目標「人・社会・未来へつなぐWell-being」のもとでの2年目。この新学校教育目標にこめられた願いが実現するように、教職員一同、子どもにしっかり寄り添い教育活動を行ってまいります。

## 人・社会・未来へつなぐWell-being

知 進んで学び豊かに表現する あきらかな子  
徳 たがいに認め合い高め合う きよらかな子  
体 めあてに向かってやりぬく すこやかな子

【制定 令和7年4月1日】

学校教育目標「人・社会・未来へつなぐWell-being」は、これからの時代を生きる子どもたち、教職員、保護者、地域のあるべき姿を端的に表現しました。

友達、先生、家族、地域の人々との関わりの中で、互いの違いを認め合い、多様性と共生を尊重することを指す「人」。  
学校、地域、日本、世界とのよりよい関わりを指す「社会」。

自分自身、自分自身をとりまく全ての環境との関わりに思いを寄せ、考え、行動することを指す「未来」。

また、「《知》進んで学び豊かに表現する あきらかな子」は、学びの中で、自分の考えをまとめ、仲間との協働で練り上げ、根拠や理由をもち、発信する力を育むことを指します。

「《徳》たがいに認め合い高め合う きよらかな子」は、仲間と協力し合い、互いに認め合い、高め合う力を育むことを指します。

「《体》めあてに向かってやりぬく すこやかな子」は、運動や健康・安全に関する課題を見つけ、適切に対応し、解決する力を育むことを指します。

このたびの改定は、末広北小学校の伝統と北っ子のよさを受け継ぎ、2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の担い手の育成を願い、学校教育目標を制定しました。

### □末広北小学校教職員の3つの共通行動

- 1 子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ 家庭・地域に帰しましょう。
- 2 自分や仲間の 心や身体を傷つける 言動は絶対に許してはいけません。
- 3 高い感度をもち かすかな変化や声をキャッチしましょう。

本校職員にお願いしたことが3つあります。

1つめは、「子どもたちを笑顔で迎え、笑顔にさせ、家庭や地域に帰す教育活動・教育実践を行ってください」ということ。子どもたちを笑顔にさせ、ご家庭に帰すには、笑顔になる教育実践をたゆまなく行っていかなければなりません。お子さんが曇った表情でご家庭に帰ったときには、遠慮無くご相談ください。学校は、安全・安心のなかで教育活動が行われることが大前提です。

そこで、2つめは、「自分自身や友達の心や体を傷つける言動があった場合、見過ごさず、絶対に許さず、しっかりと本人が理解するまで丁寧に指導してほしい」ということをお願いしました。これは、子どもたちにも末広北小学校の約束として伝えました。

最後の3つ目は、私たち教職員の心構えとして、「高い感度をもち かすかな変化や声をキャッチしましょう」ということ。

この3点は末広北小学校教職員の共通行動として確認し1年間実践していきます。

## □末広北小学校の特色ある9つの教育活動

本校では、子どもたちが夢や目標に向かって主体的に歩めるよう、「9つの特色ある教育活動」を柱に据えています。知・徳・体のバランスを重視し、ICT活用や専門的な指導、豊かな交流を通して、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す本校独自の取り組みをご紹介します。地域の宝である「北っ子」を、学校・家庭・地域の総がかりで育んでまいりましょう。

### 1 笑顔で迎え笑顔にさせ笑顔で家庭・地域に帰す指導

「学校が楽しい」ことは学びの基盤です。登校時は教職員が明るい笑顔で迎え、授業や行事では達成感という笑顔を引き出します。一日の終わりには充実感とともに笑顔で下校できるよう支援します。この「3つの笑顔」を循環させ、子どもたちが安心感と活力を持って過ごせる居場所づくりを、全職員で徹底してまいります。

### 2 朝読書による落ち着いた学校生活のスタート

毎朝の「静寂の時間」として朝読書を実施しています。好きな本と向き合い、心を穏やかに整えることで、一日の学習に対する集中力を高めます。読解力や語彙力を養うだけでなく、全校一斉に本を読む落ち着いた空気の中で滑らかに学習へと入り込む、本校の良き伝統です。静かなスタートが質の高い学校生活を支えています。

### 3 実践的な避難訓練による「自らの命は自らが守る」指導の徹底

災害時に自ら判断し行動できる「自助」の精神を養います。予告なしの訓練や休み時間中の発災想定など、より実践的な形式を重視し、教職員の指示を待つだけでなく、状況に応じた最適な選択ができる力を育てます。学校・家庭・地域が連携し、いかなる時も冷静に「命を守る」ための知恵を、日々の訓練を通して確実に伝えます。

### 4 ICTを効果的に活用した授業の工夫

一人一台端末を、考えの可視化や意見共有のツールとして日常的に活用しています。デジタル教材による視覚的な理解に加え、個々の進度に応じた個別最適な学びを推進しています。デジタルとアナログの良さを融合させ、これからの時代に不可欠な情報活用能力を育むとともに、対話を通して深い学びへとつなげてまいります。

### 5 学校教育目標の実現に迫る単元配列表に基づく指導

目指す児童像の実現に向け、学習計画の設計図である「単元配列表」を全教職員で共有しています。教科横断的な指導を展開することで、知識のつながりを意識した深い学びを可能にします。組織的かつ計画的なアプローチにより、日々の授業を学校教育目標の達成へと着実に結びつけています。

### 6 専科科目・教科担任制の拡充による専門的できめ細かな指導

算数、英語、理科、体育に少人数指導や教科担任制を導入し、専門性を活かした魅力ある授業を展開しています。複数の教師が多角的な視点で子どもたちを見守ることで、学習面だけでなく生活面でのきめ細かな理解と支援にもつながっています。質の高い教育環境を整えることで、子どもたちの知的好奇心に応え、確かな学力の定着を目指しています。

### 7 多様な発表機会の設定による表現活動の充実

「伝える力」は一生の財産です。授業での発表に加え、全校集会や行事など、多様な場でアウトプットの機会を設けています。スピーチやプレゼンテーションを通して、相手に伝える喜びや、人前で話す自信を育みます。成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高め、他者と協働しながら自分を表現できる力を養います。

### 8 異学年交流による豊かな学びの人間関係の構築

縦割り活動を通じ、学年を超えた交流を大切にしています。上級生は思いやりとリーダーシップを学び、下級生は憧れを持って集団のルールを学びます。多様な年齢層との関わりの中で育まれる「社会性」や「思いやりの心」は、これからの共生社会に不可欠です。学校全体を温かなコミュニティとして、豊かな人間性を育みます。

### 9 北っ子ベーシックとハイ・ニコ・ピン運動による学習規律の深化

学習規律「北っ子ベーシック」と、「ハイ（返事）・ニコ（笑顔）・ピン（姿勢）」を徹底しています。これらは相手を敬い、自分を律するための心の土台です。正しい姿勢や挨拶を習慣化し、当たり前のことを徹底する「凡事徹底」の精神を養うことで、落ち着いた学習環境を維持し、確かな学びと健やかな成長を支えます。

令和8年度はスタートしたばかりです。子どもたち一人一人が健やかに成長できるように学校運営をすすめてまいります。保護者・地域の皆様の温かなご支援・ご協力をお願いいたします。

※「学校だより」は原則毎月2回発行します。バックナンバーは本校ホームページからご覧いただけます。